

平成28年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	40		学校名	県立麻生高等学校				課程	全日制		学校長名	中庭 昌樹				
教頭名	原 恵三子										事務(室)長名	土子 紀子				
教職員数	教諭	31	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	4	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	49
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		104	96	104	96	94	108			302	300	15			

2 目指す学校像

確かな学力，豊かな心，健康や体力などの生きる力を育み，生徒一人一人の自己実現を目指し，全職員が一致協力して教育活動を展開するとともに，常に教育活動全体の改善・充実を図っていく，創意と活力に満ちた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
教科指導	・宿題を中心とした復習により，約52%の生徒が平日1時間以上の家庭学習ができている。一方で約48%の生徒は家庭学習時間が1時間未満であり科目によっては授業についていけないと感じている状況である。	・進路実現に向けた主体的な家庭学習習慣の確立，及び授業理解に向けた学習意欲の醸成。
進路指導	・進学率78.1%で，四年制大学41.2%，短大4.8%，専門学校32.1%であった。 ・上位層の生徒の第一志望実現は果たせてきた。国公立大学合格者は7名であった。また，希望の大学進学を概ね実現できた。就職希望者は35名のうち公務員合格(3名)大手企業内定が顕著でよく健闘した。 ・就職内定率は100%を達成した。	・大学進学希望者の進路実現をどう推進していくか。 ・進路意識の早期確立。
生徒指導	・生徒の規範意識が高く，学校全体に学ぶ場としてふさわしい落ち着いた雰囲気形成され，安心安全な学校が確立している。しかし，校外において自律心に欠ける生徒が若干見られる。 ・教室環境の整備が不十分である。 ・交通ルール及び交通マナーの遵守に不徹底が見られ，登下校時に事故が多発している。	・保護された状況からの自立を促すこと。 ・保護者や地域と連携を密にし，校外での指導体制をいかにして確立すべきか。 ・掲示の工夫や放課後の教室の整理整頓等，教室内の整備を徹底すること。 ・LHR，SHR及び学年集会等において，交通事故未然防止のための交通安全指導を行う。
特別活動等	・地域のボランティア活動に参加する生徒が減少した。 ・運動部においては，活発な活動が行われ成果も出ている。一方，文化部では，部員の確保と活動の活性化が課題となっている。 ・生徒が自主的，自発的にホームルーム活動を運営できるようになることが課題である。	・校内外の様々な活動への積極的な参加をいかに促進していくか。 ・生徒による自発的，自主的な取り組みをどう推進するか。

4 中期的目標

1	常に学習指導の工夫改善に努め、主体的な学習を促し、生徒一人一人の学力向上を図る。
2	個別面談を重視し、早期からのきめ細かな進路指導をとおして、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。
3	道徳の授業や支援し、生徒一人一人が人間性を育む。部活動・生徒会活動・委員会活動等が充実したものになるよう努める。
4	健康・安全で活力ある学校生活を送れるように、安全・安心な教育環境の維持向上に努める。
5	本校の教育活動を中学生や地域住民等へ積極的に広報すること等により、信頼される学校づくりに努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
生徒の実態に即した分かる授業の実践と学習習慣の確立による基礎学力の向上	- 各教科における適切な学習指導計画の作成および職員間の授業公開を行い、教科指導の工夫・改善を図る。 - 週末課題等により家庭学習の習慣化を図り、主体的な学習に繋げる。 - ブライタイトタイムを効果的に活用し、基礎学力向上を図る。
個々の進路希望の実現に向けたきめ細かな進路指導の推進	- 一人一人の進路希望の充実を図る。 - 一人一人の進路実現を図るため、効果的な指導方法を研究する。 - 進路情報の収集と的確な提供に努め、国公立大学合格者10名、私立大学合格者150名 及び難関大学への合格者の増加を目指す。 - 進路指導室、閲覧室の環境整備及び開かれた進路指導の推進。
いじめを許さない学校づくりの推進	いじめの未然防止・早期発見・早期解消への取り組み及び関係機関との連携を徹底する。
生徒理解に基づく指導の徹底	生徒一人一人をよく理解し、適切な信頼関係を築くために生徒理解に努める。
体罰によらない指導の徹底	生徒の規範意識や社会性の育成を図るよう適切に指導を行い、決して体罰によらない指導を徹底する。
「おはよう運動」及び「さようなら運動」の実施の徹底	全職員の共通理解の下、全職員で「さようなら運動・おはよう運動」を定期的に実施し、常時正しい身なりを徹底するとともに、交通安全指導を徹底する。
教室環境整備の徹底	掲示の工夫や放課後の教室の整理整頓等、学ぶ場としてふさわしい教室環境の整備を徹底する。
校外における指導体制の確立	保護者や地域と連携を密にし、校外での指導体制を確立する。
個性の伸長を目指した生徒会活動、部活動、委員会活動、体験活動の推進	生徒会活動、部活動等を推進するとともに、地域での体験活動への参加を促すことで調和のとれた心身の発達と個性の伸長を図り、豊かな人間性を社会性で育む。
調和のとれた成長を促す教育活動の充実	生きる力の礎ともなる他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感を養う。
生徒の安全と積極的な学校生活のための施策の充実	- 道徳の授業及びホームルーム活動、学校行事の充実を図る。 - よりスムーズなスクールバスの運行を図り、生徒が安全で快適に登下校ができ、部活動や課外等がより活発になるような環境をつくる。
中学生や地域住民への広報活動の推進	- 交通安全教育を徹底する。 - 定期的なホームページの更新をすることで、中学生や地域住民等に本校の教育活動を積極的に広報し、信頼される学校づくりに努める。